

# ドリーム通信

2019年  
6月20日発行  
第97号

山形県スポーツタレント  
発掘事業実行委員会

## 10th ANNIVERSARY ~NEXT STAGE 次の10年に向けて~



山形県スポーツタレント発掘事業 YAMAGATA ドリームキッズは、今年の8月で設立10周年を迎えます。この10年でキッズ、修了生を合わせて9名が年代別日本代表に選出され、日の丸を背負い世界の舞台に立ちました。さらにプロ野球ドラフト会議で指名されるなど、大学、実業団と活躍の場が広がってきました。

日本オリンピック委員会や日本スポーツ振興センターと連携し、中央や県内の競技団体の方々や学校関係者、県民の皆様の協力のもと、子どもたちの可能性を信じて育成してきた YAMAGATA ドリームキッズ。これらの活躍を弾みに、次の10年に向けた新たな1歩を踏み出し、今後も本事業で育ったドリームキッズが、2020年の東京オリンピックや、それに続くオリンピックなど、世界の舞台で活躍できるアスリートに成長してくれることを願っています。

## 今年度も春のコントロールテストで幕開け！

令和元年の幕開けとほぼ同時に、キッズが一堂に会するコントロールテストが5月6日に山形県総合運動公園メインアリーナで行われました。全員で本事業の目的である『世界に挑戦し続けるアスリート』を目指すことを再確認し、形態と身体能力の測定を行いました。午後からは、U15とU12に分かれ、年間スケジュールの見通しとトレーナーによるホームプログラムの確認を行い、それぞれの課題解決へ向けたヒントをいただきました。



## 第1回キッズキャンプ『思い描く』

基礎的運動P	『ハンドボール』植松伸之介氏 (男子ユース日本代表監督)
競技別運動P	『テコンドー』塩川寛和氏 (ソウルオリンピック日本代表) 金井洋氏 (大東文化大学テコンドー部監督)
知的能力P	『世界をねらう』植松伸之介氏 (男子ユース日本代表監督) 『栄養』西田久美子氏 (山形県立米沢栄養大学助手) 『目標達成シート』YAMAGATA ドリームキッズ事務局
保護者P	『アスリートの親としての心構え』栗木一博氏 (仙台大学教授)

6月1日より1泊2日のキッズキャンプが県総合運動公園で行われました。植松先生からは、知的プログラムにおいてポジティブシンキングで何事にも前向きにチャレンジしていくことやアスリートマインドについて教えていただきました。運動プログラムでは、遊びから試合へとステップアップしていく中で、重要なスキルや思考を自然に学び、ハンドボールの魅力を存分に体験しました。塩川先生と金井先生からは、基本的なステップや蹴り技から試合までご指導いただきました。心地よい緊張感の中で集中して活動しテコンドーの面白さに触れました。西田先生には「よ・い・こ」の合言葉で食事での大切な基本習慣を教わりました。栗木先生による保護者プログラムでは、保護者同士でグループを作り、キッズへの思いや考えの情報交換を行い発表しました。また、「金メダリストが身に付けている12の心理スキル」について学ぶなど、有意義な時間となりました。知的プログラムでは、目的を明確にし「先」の自分を思い描くことで「今」の自分を見つめ直しました。大谷翔平選手も活用した目標達成シートを使い、目標を考えていきました。「今」の努力を積み重ねていくことで夢を掴み、目的を達成できることを学びました。



### ●●○7・8月の予定●●○

- 7/12 (金) 第11期生募集開始 (web 又は 郵送、直接による申込み)
- 7/27 (土) ~ 28 (日) 第2回キッズキャンプ (山形県総合運動公園)
- 8/10 (土) U15 競技団体トライアウト (三友エンジニア体育文化センター)
- 8/24 (土) ~ 25 (日) 第1回アスリートキャンプ (山形市総合スポーツセンター)



問い合わせ先  
山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会事務局  
990-2412 山形市松山二丁目11番30号  
TEL: 023-615-6415 FAX: 023-615-7933  
ホームページ: <http://www.y-dreamkids.jp/>